

大椎っ子田んぼ 2011 田植え編 — 子どもたちの感想から —

今年の学校田んぼは、福島原発事故の影響を懸念する声があったため、学校の判断で子どもたちによる田植えを見合わせるようになりました。でも、子どもたちは田んぼにやってきて、ボランティアのご父兄の方々や先生方が田植えしているのを見学しながら、YPPスタッフの金谷さんから田植えのしかたや田んぼにまつわる漢字や農具の話などを聞きました。また、田植え時期にしか見られない生き物の観察もしました。

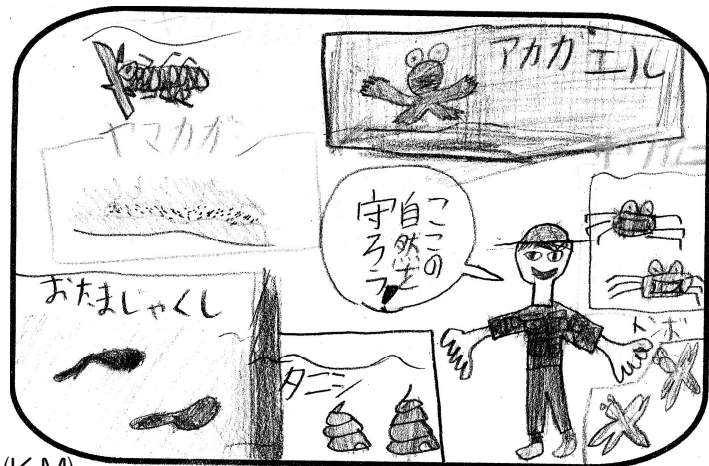
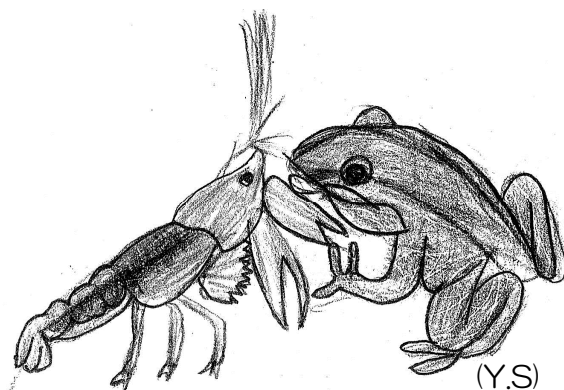
田植えはできませんでしたが、谷津田を楽しんだ子どもたちの感想をご紹介します。

*田んぼにかかわる漢字や言葉がこんなにあるなんて思わなかったですし、てきとうに植えていたと思っていた苗が、あんなにも時間を要するものだと思いませんでした。すぐめずらしい日本アカカガエルやホトケドジョウがあんなに小さな田んぼにたくさんいてそれでも生き物たちはすごい生き物のバランスを保ち続けていて、すごいと思いました。それを人間の手で、けてこわしてはいけなとあらためて心から思いました。(Y. S)

*自然観察は、いろいろな方が教えてくれました。田んぼの水温が一年中変わらないわき水があり、ふしぎだなと思いました。きれいな水が地からわき出ていました。そのまわりには、ほかと比べて、きれいな砂がありました。田んぼのことは、金谷さんが、たくさん教えてくれました。金谷さんが持っていた「鍬」(くわ)の種類は、「ひらくわ」と「びっちゅうぐわ」と教えてくださいました。でも、もっとも田んぼのことを知りたいです。(R. H)

*田んぼは、国語、算数、理科、社会、体育、音楽という、たくさんの教科を使って作業をしていると聞いてびっくりしました。(国＝漢字、算＝面積・はば・長さ、理＝根・苗、社＝農業のやり方など、体＝道具を使って、体力をつけている、音＝虫の声など。)自然観察では、オタマジャクシの顔(頭)がカエルになっていたり、オタマジャクシに足がはえていたりして、生き物のおもしろい生態を見ることができました。(K. T)

*田植えのこつは、深すぎず浅すぎずちょうどいい深さに植えることと、がんばりすぎないことだと、金谷さんが教えてくれました。調べたいことは、どうして「なわしろ」に緑のネットがかけてあるかです。田んぼの話を知りたい、田植えを見たりして、調べたい事、不思議な事があるので、いっぱい調べたいです。自然観察では、いろんな生き物を見ることができました。一番心に残っていることは、ホトケドジョウがめずらしいということです。たんぼには、たくさんのトンボがタマゴを産んでいました。秋になったらどんな生き物にかわるのか見てみたいです。(N. F)



*田植えには、いろんなやり方があるということと、田んぼに関係する漢字がたくさんあるということを知ってもらいました。楽しかったです。自然観察では、サワガニやヘビなどふつうでは見られない生き物がいっぱいいて、たのしかったです。日本でぜつめつきぐしゅになっている生き物もありました。(T. T)

*金谷さんが田んぼのあぜや道具の事などを教えてくれてよくわかりました。高山さんはヘビをさわらせてくれたり、シュレ-ゲルアオガエルやホトケドジョウがいることを教えてくれたりしたので田んぼのことも、生き物や自然のこともよくわかりました。

これから調べていきたいです。(I. Y)

*私たちは、谷津田の田んぼに行って、自然観察や田植え見学をしました。自然観察では、田んぼに住む生き物を探したり、観察をしたりしました。田植え見学では、金谷さんが、お米のことや苗の植え方をくわしく教えてくれました。苗を植える時には、苗の束から1本ずつ根っこを切らないように間かくをあけて植えるのが基本だそうです。おいしいお米が食べたいです。(A. T)

*田んぼの「田」は、田んぼの形が「田」だということを教えてもらいました。自然観察では、カエル、走りグモ、オタマジャクシをとりました。楽しかったです。(S. K)

*金谷さんの説明で田んぼのことがよくわかりました。田んぼ作業するには、国・算・理・社・音・体・図の知識が必要だということを教えてもらいました。自然観察では、田んぼにいる小さなゲンゴロウ、オタマジャクシ、ホトケドジョウ、ヤゴなどのたくさんの生き物を見ることができました。谷津田のことがとてもよくわかりました。(K. T)

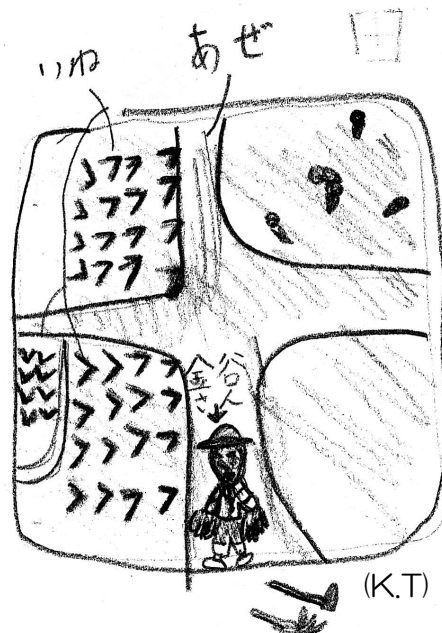
*谷に水が流れ田んぼがあるので、谷津田というのだそうです。そこには、めずらしい生き物がいて谷津田を守っているそうです。ぼくは谷津田でもっと生き物を見たいです。(K. M)

*ホトケドジョウは、自然観察した田んぼにいた生き物です。とても貴重だけど、この田んぼにはたくさんいるそうです。おうど色で水玉のもようでした。ほかにもオタマジャクシ、ゲンゴロウ、サワガニなどのいきものがいて、田んぼについてもよくわかりました。わき水は、10年以上前の雨水が山からしみでてきたと聞いてびっくりしました。もっと田んぼについてくわしく調べたいです。(M. T)

*金谷さんからはしらなかったことをたくさん教えてもらいました。私がびっくりしたことは、雑草などの草をぬいて田んぼにうめてしまうと、とけてなくなってしまうということです。ふつうの人が苗を植えるのに30分かかるところを、ベテランのおじさんが植えると5~10分くらいで終わってしまうそうです。(A. N)

*田植えをする苗は、苗代で育てるそうです。その苗を苗代からとるときには、根っこを切らないように注意することが大切なことだそうです。根っこが切れてしまうと育たなくなるからです。(C. N)

*私は谷津田に行ってたくさんのことを学びました。一番楽しかったことは、自然観察です。たくさん生き物に出会えたからです。身近な田んぼにたくさん生き物がいることを改めて知りました。田植え見学では、金谷さんが田んぼに関係する漢字をたくさん使って、田んぼの話をくわしく教えてくれてとても楽しかったです。(S. O)



小山の谷津田で放射線量測定

6月22日に小山の谷津田で放射線量の測定を行いました。測定に用いたのは、ハンディータイプの簡易サーベイメーター（ガンマ線に応答）です。

大椎小学校とあすみが丘小学校の田んぼ、りんどう広場の各調査ポイントで、地上高1m、50cm、10cmの空間線量率を計測しました。それぞれの高さで、10回計測して平均値を出しています。参考のため、田んぼの脇を流れる暗渠の中の水面上30cmでも同様に計測しました。

計測結果は右の表のとおりで、どのポイントでも0.1マイクロシーベルト毎時前後でした。この値は、文部科学省が示している校舎・校庭等の利用判断における暫定的な目安(3.8マイクロシーベルト毎時)や放射線量低減策を実施する場合の指標(1マイクロシーベルト毎時)を下回っており、行動を制限する必要の無いレベルであると考えられます。(稲富直彦)

日	時	天気	場所	高さ(m)	計測値(μ Sv/h)	
					平均値	標準偏差(ばらつき)
6月22日	12:50	晴れ	大椎小 田んぼ	0.5	0.08	0.02
				1	0.10	0.04
					0.07	0.02
	13:00	晴れ	あすみ小 田んぼ	0.1	0.09	0.02
				0.5	0.07	0.03
				1	0.08	0.03
	13:15	晴れ	りんどう 広場	0.1	0.10	0.03
				0.5	0.10	0.01
				1	0.08	0.03
	13:30	晴れ	倉一さん 田んぼ畦 (観察ルート)	0.1	0.11	0.03
				0.5	0.08	0.02
				1	0.09	0.03
	13:45	晴れ	水路	0.3	0.11	0.04
				平均値	0.09	0.03



里山たんけんレポート

第 137 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2011 年 6 月 5 日（日） うすぐもり

谷津はホトトギスの大きな声が響き、杉の天辺にとまっている姿も見られました。ウグイス、ホオジロも盛んに囀っていました。気温も上がり虫もたくさん出てきてなかなか歩みが進まない状態でした。クズの縁がギザギザになっている葉をそっと近づいて見ればベアーになったコフキソウムシがたくさんいました。小さなソウムシですがルーペで見ると光沢をもった細かい鱗に覆われているように見えてなかなかきれいです。クズはいろいろな虫が好んで集まります。今日も 3 種類のカメムシの仲間がいました。チョウは 14 種が見られ、ヤナギの樹液にはゴマダラチョウやサトキマダラヒカゲが来ていました。クワゴマダラヒトリ、マイマイガ、タケカレハなどガの幼虫もたくさんいました。これらの蛾の幼虫はたくさんいるのにマイマイガ以外は夜行性のためか成虫にはほとんど出会うことがありません。大型の鳥の餌になってもいるものも多いのでしょう。林縁では二ホンカワトンボ、ヤマサナエが飛び交い、モミジイチゴの実を口にできた人もいたようでした。

（参加者 大人 14 名、高校生 8 名、子ども 10 名； 報告：網代春男）

第 122 回 下大和田 YPP「田んぼの草取り」

2011 年 6 月 18 日（土） くもり時々小雨

下大和田の田んぼで草取りをしました。この日の空は厚い雲に覆われ時折顔に小雨があたるあいにくの天気でした、それでも谷津田には多くの人が集まりました。前回田植えをしたのが 5 月 14 日、それから 1 ヶ月と少し経ちましたが田んぼの稲はまだ弱々しい状態でした。日照時間が少なく稲の成長が遅れているようです。それとは逆に雑草たちは力強く育ち、田んぼいっぱい広がっています。稲の高さを越えた雑草もたくさんあります。この雑草を取り除かなければ今年のお米作りは大変なことになる、そんな状況の田んぼでした。雑草といってももちろんそれぞれに名前がある様々な種類の植物たちです。特に我が田んぼにはタコノアシ、イチョウウキゴケ、ヘラオモダカ、トチカガミなどといった貴重な植物も含まれます。そこで草取りの前に水田雑草の説明をし、その後草取りを開始しました。途中で昼食をはさみ午後 2 時過ぎには目的の田んぼの草取りを終了することができました。あれだけ雑草に覆われていた田んぼはすっかりきれいになりました、人の力はすごいです。少し涼しかったことも作業には良かったようです。今年も収穫が期待できます。

（参加者：大人 15 名、子ども 14 名；報告：平沼勝男）



みなさん、がんばりました。（撮影：田中正彦）

第 66 回 小山町 YPP「田植え ぱーと1」

2011 年 6 月 4 日（日） 晴れ

緑区子どもサポートセンター（千葉市）の親子連れを大勢迎えて、“あかがえる田んぼ”にコシヒカリを植えました。最初にみんなで田んぼの草取り。1 週間前に草取りをしたのですが、この季節は雑草の生長が早く、もう次の草が生えています。草取りをしながら泥の中を歩く練習をし、慣れたところで、いよいよ田植え。子どもたちがひもに沿ってまっすぐに並んで植えていきます。小さな子どもたちがとてもきれいに植えているのにはみんなびっくりしました。途中からはお父さん、お母さんと交代して田んぼの半分くらいを植えました。（参加者：大人 16 名、小学生 18 名、幼児 5 名 報告：高山邦明）



第 67 回 小山町 YPP「田植え ぱーと2」

2011 年 6 月 12 日（日） くもり

YPP 田んぼとあすみ小田んぼの残り半分の田植えをしました。YPP 田んぼは、まず赤米をベテランの子供達主導で植えてもらいました。2006 年に復田した田んぼも今年で 6 年目、当時 1 年生だった子ども今では 6 年生で、大人顔負けの手つきでした。並行して、あすみ小田んぼの残り半分にコシヒカリを植えました。こちらはあすみ小の子供達や先生方、保護者のみなさんで。田植えが初めての方もいらっしゃって最初は少しぎこちなかったものの、みなさん一条植える毎に徐々に速くなり、最後の方では息もぴったり。終わった後は「もっと植え隊」を即時結成し、YPP 田んぼのもう一端から黒米を植え始めました。先に赤米を植えていた子供達とお尻がごっつんこするまで植えました。春から大勢のご協力をいただいて復田できたあすみ小田んぼにも、ついに苗が植えられ、YPP 田んぼ～大椎小田んぼ～あすみ小田んぼと、一続きの田んぼに苗の緑が映えました。

（参加者：大人 20 名、子ども 15 名 報告：大谷祥）

番外編 小山町 YPP「田植え ぱーと3」

2011 年 6 月 15 日（水） くもり

6 月 4 日に続き、通称「あかがえる田んぼ」にコシヒカリを植えました。小学校田んぼのお手伝いに長年来てくださっていたのに、田植えはまだしたことがなかったというお母様も初参加。越の国の DNA の本領発揮でかなりの速さで植えてくださいました。並行して、田起こし部隊が草を削りつつ代かきしました。マイ開墾鋤で参戦のお父様が、この日も大活躍！ 田植え部隊の田植え速度を上回る速さで田の水面を広げて下さいました。途中、かわいいお姫様が畦でお歌を歌ってください、疲れを癒してくださいました。最終的に、例年田植えしていた部分は全て田植え完了。今まで手をつけられなかった、すみっこにある「おたまのしっぽ」地帯も復田し、田植えの予定です。

（参加者：大人 6 名、子ども 1 名 報告：大谷祥）

番外編 小山町 YPP「田植え ぱーと4」

2011 年 6 月 18 日（土） くもり

「おおほたる田んぼ」と「こほたる田んぼ」に緑米を植えました。コナギが一面にびっしりと発芽していて、田植え前の草取りがひと苦労でした。苗が大きく生長していて植えるのは楽で、子どもたちは田植え競争で早く、きれいに植えるのを競いました。

（参加者：大人 6 名、子ども 6 名 報告：高山邦明）

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 6月 4日 ドクダミが咲く。ホソミオツネトンボ、ギンヤンマ、オオシオカラトンボを見かける。斜面林ではウノハナが咲く（高山）。
- 6月 6日 オオヨシキリがしきりに鳴き、オスどうしが縄張り争いをしていた。この季節にしては珍しくまだシュレーゲルアオガエルの卵塊があった（高山）。
- 6月 18日 斜面林の縁でホタルブクロが一斉に開花。田んぼからノシメトンボ、アキアカネが次々と羽化。小さなアマガエルが上陸を開始（高山）。
- 6月 26日 シュレーゲルアオガエルも上陸をはじめる。ショウジョウトンボが田んぼでなわばりを張っていた（高山）。

下大和田

- 6月 7日 ホトトギス盛んに鳴く（網代）。
- 6月 18日 オオシオカラ初見（網代）。
- 6月 22日 カブトムシ、ノシメトンボ初見（網代）。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPP のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）： ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

ご注意： ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第123回 下大和田 YPP「あぜの草取り」

本格的な夏を迎えた田んぼで畦の草刈りをします。暑い中ですが、お米のため、田んぼの生きものたちのためにぐんぐん伸びる草を刈りましょう。暑くなるのでたっぷりの飲み物と帽子をお忘れなく！

日 時： 2011年7月23日（土） 10:00～14:00 小雨決行

場 所： 千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）

集 合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に 10:00（JR 千葉駅 10 番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで 45 分<千葉駅発 8:53、9:08、9:23 など> 料金は 520 円）

持ち物： 弁当、飲み物（暑いのでたっぷりと）、長靴、帽子（お忘れなく！）、軍手、敷物。

参加費（資料代等）： ちば環境情報センター会員および家族 100 円、一般 300 円、小学生未満無料

主 催： ちば環境情報センター 共 催： ちば・谷津田フォーラム

▼第139回 下大和田 8月の谷津田観察会とごみ拾い

オニヤンマが見られる頃です。バッタの仲間には成虫になったものもいます。コガネグモやナガコガネグモの活躍も見られるでしょう。生きものの営みを観察しながら散策しましょう。

日 時： 2011年8月7日（日）観察 10～12 時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場 所： 千葉市緑区下大和田谷津田（下大和田 YPP に同じ）

集 合： 下大和田 YPP に同じ

持ち物： 筆記用具、飲み物（暑いのでたっぷりと）、長靴、帽子（お忘れなく！）、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費： 100 円（小学生以上、資料代など）

主 催： ちば・谷津田フォーラム 共 催： ちば環境情報センター

▼第68回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

ようやく田植えが終わった田んぼでは雑草がぐんぐん伸びています。生きもののために、秋の収穫のために、草取りに汗を流しましょう。

日 時： 2011年7月16日（土）10:00～12:30 *小雨決行

場 所： 千葉市緑区小山町 リンドウ広場（ご連絡いただければ地図をお送りします）

持ち物： 飲み物、飲み物（暑いのでたっぷりと）、長靴、帽子（お忘れなく！）、軍手、敷物。

参加費： 100 円（小学生以上、資料代など）

主 催： ちば環境情報センター

編集後記 時間がかかっていた小山の田植えがようやく終わりました。今年は地元小学校の新しい田んぼが増えました。放射性物質による汚染への危惧から、子どもたちによる田植えはできなかったものの、先生や保護者が代わりに植えてくださり、アシ原が田んぼに変身しました。新しい田んぼにはオタマジャクシやアメンボが泳ぎ、トンボが卵を産みつけ、たくさんの生きものでにぎわっています。米づくりが生きものの命をはぐくむことを実感しますね。

（高山 邦明）